

1. 開催日時：令和6年6月12日（水）10：00～11：59
2. 開催場所：中央合同庁舎第7号館西館9階 共用会議室（905B）
3. 外部有識者（敬称略）：
石島 隆 法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授、公認会計士

4. 主な審議内容

事務局より、令和6年度の外部有識者点検対象事業である

- ・「企業財務諸制度の整備」
- ・「サステナビリティ開示及び保証の諸制度の調査等・人的資本に関する国際的な開示ルールの策定の推進」
- ・「金融仲介機能の強化」
- ・「事業再生支援高度化事業」

について、事業概要の説明及び質疑応答を踏まえ、外部有識者から以下のとおり所見が述べられた。

「企業財務諸制度の整備」

- この事業は、あるべき会計基準についての我が国の意見や立場を国際的に発信し、会計基準の高品質化を図っていくためにインパクトを与える活動であるので、定性的なものになるかも知れないが、意見発信の効果を短期、又は中期アウトカムとして設定することを検討してはどうか。
- 長期アウトカムの指標として、IFRSの任意適用企業の数ではなく、市場の時価総額に占める割合とすることを検討してはどうか。その方が、事業の目的に沿った進捗状況を国民が理解しやすいのではないかと。

「サステナビリティ開示及び保証の諸制度の調査等・人的資本に関する国際的な開示ルールの策定の推進」

- 4つの施策に対応した具体的なアウトカムが設定されており、アクティビティとアウトカムの対応関係は妥当と考えるが、各施策の効果が総合されて事業全体の目的が達成されるので、今後、事業全体の目的を踏まえた長期アウトカムの設定も検討してはどうか。

「金融仲介機能の強化」

- 外部有識者会議開催経費について、「国内銀行の総貸出残高に占める信用貸出残高比率の増加」を長期アウトカムに設定しているが、コロナ禍以降中断している外部有識者会議が再開される際には、その会議のテーマ設定等を意識した長期アウトカムの設定を検討してはどうか。
- 調査業務委託経費（企業アンケート）について、「有効回答数の増加」を長期アウトカムに設定しているが、金融機関が企業からどう受け止められているかといった状況を把握することを目的としているので、その目的にあったアウトカムの設定を検討してはどうか。
- 「業種別支援の着眼点」の普及に関するアンケートの実施は、事業成果の点検と施策の改善を図る意味でも非常に良いことだと思うので、今後とも続けていただきたい。

「事業再生支援高度化事業」

- 短期の事業であるため、「事業再生等に関する研修を受講した金融機関受講者へのノウハウの共有」を短期アウトカムとして設定しているが、この研修の成果や明らかになった課題等については、今後の施策に活かしていくことを検討してはどうか。

以上